

コンクリートのトレーサビリティ確保技術に関する研究委員会

第4回全体委員会議事要録

日 時：平成 25 年 8 月 9 日（金）13 時 00 分～18 時 30 分

場 所：JCI 第 3 会議室（12F）

出席者：

（委 員） 杉山央、有川智、大久保孝昭、中村秀明、荒金直樹、上田洋、江里口玲、
草野昌夫、古賀純子、角倉英明、田沼毅彦、藤本郷史、渡邊悟士

（オブザーバー） 相良貴光

（事務局） 岡田遼

資料：

- No.4-WG1-1 第 4 回 WG1 議事要録
- No.4-WG1-2 トレーサビリティ関連「リスト」
- No.4-WG1-3 トレーサビリティ関連「技術系統（研究開発グループ）リスト」
- No.4-WG1-4 トレーサビリティ関連「情報シート」
- No.4-WG1-5 WG1 作業方針
- No.4-WG2,3-1 IC タグ等を利用したコンクリートのトレーサビリティ確保技術アイデア
- No.4-WG2,3-2 コンクリート履歴情報一覧表（時系列整理）
- No.4-WG2,3-3 コンクリート履歴情報一覧表（各委員意見整理）
- No.4-全体-1 JCI-TC123A 委員名簿
- No.4-全体-2 JCI-TC-123A WG 所属
- No.4-全体-3 JCI 研究委員会資料
- No.4-全体-4 平成 25 年の今後の委員会予定について
- No.4-全体-5 コンクリートのトレーサビリティ概念図
- No.4-全体-6 研究委員会報告書目次案

1. WG1 の活動状況および今後の方針について

- ・資料 No.4-WG1-2～5 をもとに、WG1 の進捗状況と作業方針について報告があった。
- ・リスト中の未入手文献について、報告書作成などに必要なものは早急に入手する。
- ・リスト化した文献に 3 文献を追加して、技術系統ごとに A～X（F はモニタリング技術のため除外）に分類した。このうち、次表の 11 項目について情報シートを作成する。情報シートは 9 月末までに作成（図表転載未確認でも可）し、次回委員会で確認する。

技術系統 No.	情報シート作成者	図表転載対応者
A、B	有川、角倉（作成済み）	杉山、大久保
C	草野	草野
E	有川、角倉	江里口
G、T、W	角倉	角倉
H	江里口	江里口
P	荒金	中村
U、V	渡邊	大久保

- ・報告書では、2.2 節に文献（各担当）、2.3 節に登録特許（江里口委員）、2.4 節に実施例（草野委員）に関する調査結果をまとめる。2.2 節は技術系統を複数項に分類して作成する。
- ・報告書は、主観を入れずにできる限り客観的な文章となるように心掛ける。
- ・事務局より報告書フォーマットを送り、次回委員会までに角倉委員が 2.2.2 を仮作成する。

2. WG2 の活動状況および今後の方針について

- ・GPS を活用したトレーサビリティ確保技術開発に関する作業方針について報告があった。
- ・生コン工場の管理システムは統一されていないため、現状では生コン製造データを入手するためにデータの手入力が必要となる。
- ・プログラム作成は、比較的容易な検査データ入力に関するものから取りかかる。
- ・資料 No.4-WG2,3-1 をもとに、IC タグを活用したトレーサビリティ確保技術のアイデアについて報告があった。
- ・報告書では、一覧表以外にも図や文章などでより分かりやすく説明することを検討する。
- ・GPS、IC タグともに特色があり、各技術および両者を併用した技術の可能性や課題の抽出を意識しながら今後の検討を進める。

3. WG3 の活動状況および今後の方針について

- ・資料 No.4-WG2,3-2～3 をもとに、WG3 の作業方針について説明があった。
- ・各担当者で抽出したコンクリート履歴情報を一覧表としてまとめたが、土木学会示方書については情報項目が網羅されているかどうか再度確認する。
- ・前述確認を反映させたシートを大久保幹事および渡邊委員で作成し、WG 外および委員外も含めて、保管難易度および重要度に関するヒアリングを実施する。
- ・生コン製造者、施工者、施主などの立場の違いによる意識の違いを知るためにも様々な立場の方を対象としたいが、自分の立場にとらわれずに回答してもらいたい。
- ・ヒアリングは 9 月末までに実施し、次回委員会以降は重要な項目を抜粋して議論する。

4. WG4 の活動状況および今後の方針について

- ・試行実験について説明があった。
- ・施工者が決まり次第、製造記録のやり取りの容易さ等を考慮して生コン工場を選定する。

5. 全体委員会での議事内容について

- ・資料全体 No.4-全体-1～2 をもとに、藤本委員追加等の委員構成に関する確認があった。
- ・大久保幹事および西田委員の所属等が間違っているため、確認して修正する。
- ・資料全体 No.4-全体-5 をもとに、トレーサビリティの概念について議論がなされた。
- ・資料全体 No.4-全体-5 をもとに、報告書について議論がなされた。
- ・WG4 に関する章は、報告書期限に間に合う範囲で執筆内容を決める。
- ・100 名程度の参加者を確保することも考慮し、報告会の形態について検討する。
- ・資料全体 No.4-全体-4 をもとに、委員会開催予定について以下のとおり確認があった。

第 5 回全体委員会：平成 25 年 10 月 17 日（木）13:00～18:30

以上